



# 中学生・高校生向け



『赤毛証明』  
光丘真理／作

くもん出版 ¥1,300 (税別)

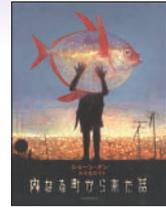
生まれつき髪が茶色いめくは、生徒手帳に押された「赤毛証明」という赤いはんこが普通ではないと言われているようで気に入らない。自分は普通ではないのか、普通とは何か。様々な境遇の人々との対話を通し、自分自身を見つめていく。



ウイズ ユー  
『with you』

濱野京子／作 中田いくみ／装画・挿画  
くもん出版 ¥1,300 (税別)

高校受験を控える悠人は、ランニングの途中、寂しげな面持ちの朱音に気づき声をかけた。一つ年下の朱音は介護と家事を担うヤングケアラーだった。恋愛物語の中に互いに抱える家庭の事情が見える。社会的な問題を考えるきっかけになる作品。



『内なる町から来た話』

ショーン・タン／著 岸本佐知子／訳  
河出書房新社 ¥2,900 (税別)

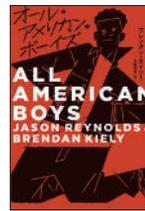
空を泳ぐ魚、アパートに住むブタ、ハイウェイを駆ける馬、人間を訴えるクマ…不思議な動物たちと人間が織りなす、25のシュールな物語。油彩で描かれた挿絵の数々が、想像力をかき立てる。



『王の祭り』  
小川英子／著

ゴブリン書房 ¥1,500 (税別)

舞台は、16世紀のイングランドと日本。登場人物は、同じ時代に生きた織田信長とエリザベス一世。そして、シェイクスピアと出雲の阿国を思わせる少年と少女。為政者二人と、芸に生きた二人が時空を超えて出会う壮大なファンタジー作品。



『オール★アメリカン★ボーイズ』

ジェイソン・レノルズ、ブレندان・カイリー／著 中野怜奈／訳  
偕成社 ¥1,500 (税別)

ある日、黒人の高校生ラシャドは万引き犯と疑われ、白人警官から殴られ入院した。事件の動画が拡散し、高校で抗議デモが計画されると、黒人と白人の対立が激しくなり…。米国で広がるブラック・ライブズ・マター運動を題材にした物語。



『公務員という仕事』  
村木厚子／著

筑摩書房 ¥860 (税別)

男女雇用機会均等法や障害者雇用など社会を変革する取り組みに真摯な姿勢で挑み続けた彼女だからこそ語る「公務員の矜持」。逆境に屈することなく事務次官まで務めた著者の「パッシングからは何も生まれない」という言葉が胸に響く。



『この世界を知るための大事な質問』

野澤巨伸／著

宝島社 ¥1,500 (税別)

日本ユニセフ協会の現地視察に同行取材したカメラマンが、8カ国の写真を選び作成した本。各国に暮らす子どもたちの現実…干ばつや飢え、人身売買、児童労働、難民、HIV/エイズの感染などを、Q&A形式で学ぶことができる。



『コロナの時代の僕ら』

パオロ・ジョルダノ／著 飯田亮介／訳  
早川書房 ¥1,300 (税別)

2020年2月末から3月頭にかけて、新型コロナウイルス感染が急拡大したイタリア。暮る人々の不安、哀しみ。混迷の中で紡がれた時代の記録。著者は災禍を克服した後もこの体験を胸に刻み、生き方を見直そうと説く。

## その他のおすすめの本

『兄の名は、ジェシカ』

ジョン・ボイン／著 原田勝／訳 あすなろ書房 ¥1,500 (税別)

『イーブン』

村上しいこ／作 小学館 ¥1,400 (税別)

『ウルド昆虫記バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎／著 光文社 ¥1,800 (税別)

『紙の心』

エリーザ・ブリチェリ・グエッラ／作 長野徹／訳 岩波書店 ¥1,700 (税別)

『朔と新』

いとうみく／著 講談社 ¥1,500 (税別)

『12歳の少女が見つけたお金のしくみ』

泉美智子／著 水元さきの／漫画 モトロカ／イラスト 佐和隆光／監修 久谷理紗／原案 宝島社 ¥1,300 (税別)

『14歳の教室』

若松英輔／著 NHK出版 ¥1,300 (税別)